



第398号 平成23年9月1日  
発行所 京都市学校医会  
京都市中京区間之町通竹屋町下ル  
楠町601-1 こどもみらい館 2階  
TEL (075) 256-0351  
FAX (075) 241-3568  
発行人 奥村正治

## 本 年 の 懇 談 会

会 長 奥 村 正 治

京都市学校医会と教育関係者との懇談会は本年も始まりました。例年、学校医会と教育委員会・校園長会・養護教育研究会、の三部会との懇談会が通例であるが、本年は教育委員会との会は秋に延期になりました。二部会との懇談会の報告にします。校園長会とは7月16日(土)、養護教育研究会とは7月23日(土)に行われました。

校園長会の様子は、学校医会から最近の注意を必要とする話題と、お世話になった話題等を話しました。

### 1) 日本脳炎について

本年はワクチンの増量が見込まれ、昨年から3歳が積極的な勧奨を行っていますが、本年は3歳と4歳が幼児の方々の積極的な勧奨となりました。それに加えて、小学生の3年生、4年生がⅠ期のどこかで中止になっている方が大勢おられるはずですので、Ⅰ期の不足分と、Ⅱ期を順次受けて下さいという形で積極的な勧奨になりました。それに加えて、京都市では5年生も同様に積極的な勧奨に入りました。又、お誕生日が平成7年6月1日～平成19年4月1日の間の方は、ご希望であれば、日本脳炎のワクチン接種は可能になりました。と、話しました。大半の管理者の先生方の幼稚園、学校に関係幼児・児童・生徒さんは在籍しており、どなたにも必要な話題となりました。

### 2) 病院の初診について

学校健診後の受診勧告で、病院を希望し、紹介状を持たないで、病院を受診した場合、病院と診療所の機能分担の推進を図る観点から、紹介状を持参しないで、自己の選択により、病院を受診した場合、初診に係る費用として、〇〇〇〇円を徴収されますので、保護者の方にご連絡ください。と、話題を提供いたしました。

### 3) MRⅢ期の集団接種のお礼について、

平成22年度のMRの接種率の集計が出来、中学1年生がお世話になった中学校長会の先生に「昨年も好成绩でした」と、教職員のご協力のお礼を申し上げた。Ⅰ期98.8%、Ⅱ期95.7%、Ⅲ期97.8%、Ⅳ期74.1%と22年度はなっており、高等学校長会には「今年は頑張ってほしい」と、少し注文を付けておきました。

### 4) 子宮頸がんワクチンについて

ワクチンの不足で高校2年生を優先していましたが、7月15日に京都府の健康対策課より、FAXにて連絡が入り、タイムリーでもあるので、中学・高校の校長会の先生に7月20日より中学1年生～高校2年生までワクチン接種が「可能となりました」と、高校2年生は、遅くとも9月中旬に開始をしないと、最後の分が公費負担にならない事も話しておきました。

5) 小学校入学前健診後の受診勧告について (眼科)

眼科校医の弓削先生より標記の話題の視力基準を0.7を1.0にレベルをアップする旨お話がありました。(後に、23年度は以前の数値を用いるとの連絡を受けました。次年度よりなる模様です。)

校園長会の先生からは特別議題は無かったようです。懇親の場は、初めて会った先生方が多かったと思うのですが、随所で意気投合と言うお話があったようです。

養護教育研究会との懇談会は、養護の先生より色々の質問や要望が出された。学校医会からは、校園長会の話を中心に申し上げた。

養護の先生からは、健診についての話題が多く出されました。

1) プライバシー・個人情報保護について (小学校から)

耳鼻科や眼科健診においては、子供たちに判別しにくいように病名を数字で表現していただいているが、内科もそのようにはならないか？

やってやれない事はないが、病名が多いため誤記が生じる場合も出て来るかも知れない。又、健診をまっている児童との区別を衝立などで、上手にして頂きたい。

2) 健診に欠席していた児童生徒の取り扱いについて (小学校から)

多くの子供さんが欠席の場合は、校医の先生との相談になるが、もう一日追加の日を設定して頂いたらどうでしょう。

少ない場合は、校医の診療所に向いてほしい。

中学校で病院勤務の先生が校医となり、診療所に向けないというケースが発生している。このケースの方が深刻と受け止めております。近所の他の校医の先生にご無理をお願いしたケースです。

3) 学校医と他の医師との診断基準について (中学校から)

耳鼻科健診時、学校医が他の医師と健康診断を実施される時、お二人の診断基準に大きく差が有るようで気になります。

内科の方でもアトピー性皮膚炎を、診断の中に入れようか入れるまいか？迷う事が多いです。一定の基準を設定すれば確定しますが、基準作りが難しいです。心臓検診で他の先生より余りにも多くの異常を指摘する先生が有りましたがこれも問題です。この問題の解決は難しいです。

4) 日程調整について (中学校から)

先生と相談の時は2～3案ぐらいの幅を持って打ち合わせして下さい。大半の先生方は、曜日で動いておられる先生が多いので、空きの曜日を先にお調べいただく事も解決の方法です。校医の先生と養護の先生とが仲良しになっていただく事が、一番の解決方法ではないでしょうか？

5) 定期結核健康診断における学校医の診察について (中学校から)

2週間以上咳が続いていますか？の項目がこれに引っかかる処でしょう。校医の先生と相談して、診察の方向で進んで下さい。健康診断の日に、この結核の検診もしておられる先生が多いのではないですか？

6) 色覚検査の取り扱いについて (小学校から)

眼科の細谷先生より詳しくご説明いただいた。学校での全員の検査は無くなりましたが、保護者の了解が得られれば学校でも検査は可能です。出来るだけ多くの検査を可能にして頂きたい。異常のケースは眼科学校医が中心になり、丁寧な個別指導がなされております。

今回も養護の先生方とは屈託のない話が出来、養護教育研究会と学校医会との間柄は良好の関係と見ました。どうぞ養護の先生と担当の校医の先生も良好の関係を作って戴きたいと思っております。

# 「東日本大震災被災のこどものこころのケア」研修会

常任理事 杉本英造

京都市学校医会・精神衛生研究班では、平成18年秋より発達障害で悩んでおられる児童・生徒・保護者・教職員を対象に「こころのワンポイント相談」を行っており、これまでに51件の事例にあたりました。詳細は本年度発行の京都市学校医会誌に掲載予定ですのでご参照ください。

さて、本年3月11日発生しました東日本大震災後、東北地方より京都に移住された児童・生徒は約200名で、7月24日現在で約100名です。京都市教育委員会より、この京都へ移住された児童・生徒のこころのケアも相談事業に加えていただけないか依頼を受けました。しかし、この分野の経験は少ないため、8月18日(木)・子どもみらい館において、京都市児童福祉センター：幸田有史（ゆきたありふみ）先生を講師に迎え研修会を開きました。

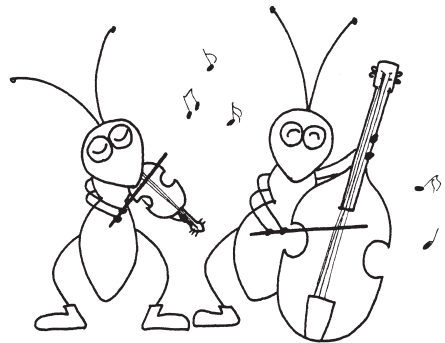
被災によって大切な人々（親、兄弟、家族、親戚、友人、知人）や、大切なもの、生活の場、思い出を失う喪失体験によって生じる一連の自然な心理的反応を**悲嘆反応**とよびます。この悲嘆反応の寛解には、喪失を受容し、その悲しみ、時には怒りや罪悪感を感じて表現し、変化した生活環境に適応していき、そして、失った大切なものを思い出としてこころの片隅におけるようになるという長い過程を要します。太平洋戦争で被災した人が戦後60年以上を経て、今ようやくメディアに気持ちを吐露できるような長い過程。

さらに子供の行動・こころ・からだの反応、子供のトラウマ反応、家族が心がける対応、支援者が心がける対応について説明を受けました。支援者は救世主願望で対応してはいけないし、支援しているはずが逆にストレスによる2次外傷を負うことも自覚する必要があります。誌面ではとても伝えられない示唆に富む内容でした。

幸田先生の（こどもの）支援三原則を「まとめ」とさせていただきます。

- ①【正常な経過の見守り】被災後の不安や苦しみ、子どもの心身の変化は正常な経過のことも多く、まず見守りましょう。親や支援者を支えましょう。
- ②【長引く症状、気になる症状の発見と紹介】症状が長引いたり、気になる症状のある時、関係・専門機関を紹介する。代表的な症状や、照会先を知っておく。
- ③【回復過程の個別差と包括的支援】子どもや家族の特性や条件で回復過程に差が出る。ソーシャルワークやコミュニティでの支援、個別ニーズの発見や支援を考え、チームやネットワークで支援していく。

☆ 研修会での配布資料をご希望の方は学校医会事務局までご連絡ください。



---

---

## 第4回 常任理事会

---

---

平成23年9月3日  
於 事務局

**出席者** 奥村会長，林・竹内副会長，井本専務理事，  
東道・大久保・杉本各常任理事，佐野眼科  
学校医会副会長，鈴木耳鼻咽喉科専門医会  
理事，長村監事

### ・会長挨拶

### <報告事項>

1. 色覚相談 8/9, 8/23, 8/30
2. 東日本大震災にて東北地方より京都へ移住された児童・生徒のこころのケア相談 8/18  
講師：幸田有史先生（京都市児童福祉センター）  
於：こどもみらい館 本号参照
3. 心臓相談 8/24 中1男子 エプスタイン  
奇形
4. その他

### <協議事項>

1. 教育委員会との懇談会について  
就学时視力検査の基準  
健康管理医 などについて 協議予定
2. 日本脳炎ワクチン，子宮頸ガンワクチンについて
3. 京都市小学生記録会について（12/4 駅伝競走）
4. 平成23年度 ご勇退について
5. 新年会について 平成24年1月14日予定
6. 教職員の健康管理について：10月号参照
7. 就学时健康診断結果のお知らせについて
8. 就学前の予防接種について
9. その他

### <関連学会・各種協議>

1. 精神衛生研究会 9/8
2. 給食室巡視 9/12・9/14（竹内），  
9/27・9/28（長村）
3. 色覚相談 9/13, 9/27
4. 京都市学校保健会第2回表彰委員会 9/13  
竹内出席
5. 腎臓相談 9/20
6. 京都市学校保健会第2回常務委員会及び指定都  
市学校保健協議会第6回実行委員会 9/27  
於：京都市総合教育センター
7. 京都市学校保健会第2回企画委員会 9/27  
13：30～ 於：体育健康教育室
8. 京都市学校保健会健康教育シンポジウム事前打  
ち合わせ 9/27 14：00～  
於 体育健康教育室
9. 常任理事会 10/1 15：30～
10. 教育委員会との懇談会 10/1 17：30～  
於：室町和久傳

